

特徴

高く伸びた茎の先に、大輪の花を咲かせます。夏のもっとも代表的な花という印象があり、漢名の「向日葵」は、太陽の動きに合わせて回る花を意味するところから、「太陽の花」の意ですが、実際にはそのような動きはしないようです。一輪だけでも華やかさがあり、正面のはっきりした花ですが、横や後ろ向きのユニークな姿もありますので、明るく、のびのびした気分にしてくれるお花です。



育て方

【用土】

水もちのよい肥沃な土が適しています。また、日当たりの良い場所を好むので、日光が十分に当たるような場所（1日7~8時間は日が当たるような場所）が理想的です。



【植え付け】

発芽温度（最適）20℃程度

● 軟らかい土に1センチほどの穴を作り、1粒ずつ種を押し込むように植えてその上に土をかぶせます。直蒔きでもプランターでも50~60センチほど間隔をとるようにしましょう。

【水やり】

- 種蒔き後は発芽するまで朝晩たっぷり水を与えましょう。
- 基本的に乾燥には強いですが、発芽後は土の表面が乾いたら水やりをするようにしましょう。



【間引き】

- 間引きは不要です。



【追肥】

- 肥沃な土であれば追肥の必要はありません。肥料は与えすぎないようにしましょう。



【その他注意点】

種蒔き時期は4月~6月ですが、発芽温度は20℃以上ですので地域によっては注意が必要です。

心理効果

このお花を育てよう（気になる）時は、心理的に黄色はすべての色の中で一番明るく、「外向性」を表す色です。特にヒマワリの黄金色は、気持ちが明るくなり、テンションを高く、心を弾ませてくれる色です。また、高く伸びた茎の先に大輪の花をさかせ、外に向かって花びらが広がる形から、向上心が高まっているとき、自分を成長させたいときこのお花は、オススメです。

連想イメージでは、希望、活発、知性、平和をもたらしてくれるので、落ち込んだ時、感じたままを素直に行動できない場合や、物事を楽観的に考えることが必要な時などにもオススメです。